

教科名	書道科	校 種	高等学校
-----	-----	-----	------

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・ 選	単位	授業展開など、授業の形態
1 年				
2 年	書道Ⅰ	選	2	
3 年	書道Ⅱ	選	2	

科目名（教科名）		書道Ⅰ（書道）			
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	選 択
目的	1. 書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心を育て、感性を豊かにする。 2. 書の能力を高め、表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばす。 3. 個性を伸ばし、世界に向けたしなやかな美の心を育てる。				
学 期	授 業 の 項 目			内 容	
1 学期	○はじめに ○漢字の書に親しもう ○篆刻 ○硬筆			・書写から書道へ ・姿勢・執筆法 ・用具・用材（文房四宝） ・書体の移り変わり ・楷書の古典 【初唐の三大家】 【日本の楷書】 ・名前の印を彫る。青田石 ・ペン習字 ・全国硬筆作品展覧会出品	
2 学期	○漢字の書に親しもう ○書き初め ○漢字かな交じりの書			・行書の古典 【蘭亭序】 【日本の行書】 ・篆書の古典 ・隸書の古典 ・草書の古典 ・漢字の書の鑑賞 学院祭書道展 外部書道展への出品と鑑賞 ・全国書きぞめ作品展覧会出品	
3 学期	○仮名の書に親しもう ○生活の中の書			・仮名の成立 ・仮名の基本線 ・平仮名…いろは歌 ・変体仮名 ・連綿 ・年賀状・挨拶文などの書き方・マナー	
評価の 観点	【知識・技能】 （30％）	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっているか。書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現技術を身につけているか。			・学習プリント ・練習作品 ・展覧会見学レポート
	【思考・判断力・表現】 （40％）	書の美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫しているか。			・創作作品 ・硬筆・書き初め作品展覧会出品
	【主体的に学習に取り組む態度】 （30％）	書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしているか。学習活動への参加状況や態度。硬筆練習帳の内容。			・学習プリント ・授業態度・課題提出 ・硬筆練習帳の内容
評価の方法と割合	● 評価方法 : 作品制作点と平常点（硬筆帳・展覧会レポート等）により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 作品制作点70％・平常点30％				
教科書・副教材等	● 教科書 : 書Ⅰ（光村図書） ● 副教材 : 硬筆練習帳（教育図書）				

科目名（教科名）		書道Ⅱ（書道）			
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	選 択
目的	1. 書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と、書の文化や伝統を尊重する態度を育てる。 2. 実用書の技術とマナーを身につける。				
学 期	授 業 の 項 目			内 容	
1 学期	○多様な書の美 ○条幅【半切】作品の制作 ○刻字 表札の制作 ○硬筆			・書道Ⅰから書道Ⅱへ ・多様な書の表現と鑑賞 ・篆書での創作 ・隸書での創作 ・草書での創作 ・行書での創作 ・楷書での創作 ・表札文字の草稿から、セラミックボードへの刻字・仕上げ ・全国硬筆作品展覧会出品	
2 学期	○仮名書の美の多様性 ○絵巻物創作 ○和紙ファイル（創作）			・仮名の発生から完成へ ・臨書から創作へ ・仮名の書の鑑賞 学院祭書道展・外部書道展出品と鑑賞 ・伝えたいことを工夫して残す ・漢字かな交じりの書	
3 学期	○生活の中の書			・実用書（硬筆・筆ペン）	
評価の 観点	【知識・技能】 （30%）	書の伝統と文化や、書と生活や諸文化との関わりについて理解しているか。自己の感興や意図を実現するため構想を具現化し、主体的に個性的・創造的な表現ができているか。			・学習プリント ・練習作品 ・展覧会見学レポート
	【思考・判断力・表現】 （40%）	確かな書の表現技法を習得し、それを生かしてより自由で個性的な書の表現を工夫しているか。			・創作作品 ・硬筆作品展覧会出品
	【主体的に学習に取り組む態度】 （30%）	生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけているか。学習活動への参加状況や態度。			・学習プリント ・授業態度・課題提出 ・筆ペン練習帳の内容。
評価の方法と割合	● 評価方法：作品制作点と平常点（硬筆帳・展覧会レポート等）により、各学期の成績を算出する。 ● 割合：作品制作点70%・平常点30%				
教科書・副教材等	● 教科書：書Ⅱ（光村図書） ● 副教材：筆ペン字練習帳 洗心（日本書写教育研究会）				